

## 平成 29(2017)年度第 3 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

**日時：**平成 29（2017）年 7 月 24 日（月）14:00～17:00

**場所：**大阪芸術大学短期大学部大阪学舎 3 号館 1 階 会議室

**出席者（敬称略、順不同）：**

大阪大学附属図書館	井上敏宏
近畿大学中央図書館	伊豆田幸司
京都大学附属図書館	奥友香子
神戸大学附属図書館	山崎真知子
奈良県立大学附属図書館	尾松謙一
京都市立芸術大学連携推進課	角田敏昭
同志社大学図書館	山口伊都代
大谷大学図書館	山内美智
大阪芸術大学図書館（大阪芸術大学附属大阪美術専門学校）	多賀谷津也子
大阪体育大学図書館	那須浩子

（オブザーバー）

神戸市外国語大学学術情報センター	橋本真里
立命館大学図書館	小中啓司
大阪樟蔭女子大学図書館	丸谷初江（吉川淳委員の代理）

**配付資料：**

- |                                 |        |
|---------------------------------|--------|
| 1 開催通知                          | 資料 1   |
| 2 大学図書館近畿イニシアティブ                |        |
| ① 近畿イニシアとは？                     | 資料 2-1 |
| ② 近畿イニシア組織構成図                   | 資料 2-2 |
| ③ 大学図書館近畿イニシアティブ運営要綱            | 資料 2-3 |
| ④ 能力開発専門委員会設置要項                 | 資料 2-4 |
| ⑤ 能力開発専門委員会 委員一覧                | 資料 2-5 |
| 3 平成 29 年度第 2 回能力開発専門委員会議事概要（案） | 資料 3   |
| 4 平成 29 年度能力開発専門委員会開催検討資料       |        |
| ① 開催日程検討資料                      | 資料 4-1 |
| ② 開催会場検討資料                      | 資料 4-2 |
| 5 平成 29 年度「中級研修」について            |        |
| ① 決算報告                          | 資料 5-1 |
| ② アンケート集計結果                     | 資料 5-2 |
| ③ 各委員研修まとめ                      | 資料 5-3 |
| 6 平成 30 年度研修事業について              |        |

① 近畿イニシア研修プログラム (H17-H28)	資料 6-1
② 研修関係スケジュール表	資料 6-2
③ 日程表 (H28「初任者研修」)	資料 6-3
7 平成 29 年度第 1 回運営委員会 (7 月 7 日)	資料 7

・ **議事に先立ち以下を確認した。**

- 1) 委員自己紹介：新委員紹介を含め全員の自己紹介を行った。
- 2) 配付資料の確認
- 3) 本日議事概要の担当：井上委員が担当することとした。
- 4) 今年度委員会主査の選出：前年度に引き続き山崎主査を選出した。また、今年度から副主査を置き、井上委員が担当することとした。

**議題**

**1. 平成 29 年度「中級研修」について**

**1) 決算報告 (案)**

奥委員から資料 5-1 に基づき、平成 29 年度の決算報告があり、報告書の誤記を修正、確認のうえ、承認することとした。

**2) アンケート集計結果**

橋本委員から資料 5-2 に基づき、平成 29 年度「中級研修」受講者のアンケート結果報告があり、受講者の感想は概ね良好であったことを確認した。なお、本結果は既に大学図書館近畿イニシアティブ (以下、「近畿イニシア」と言う。) 運営委員会に報告済みである旨、山崎主査から補足された。

**3) 研修会資料の Web 掲載について**

山崎主査から標記研修当日の配付資料及びアンケート調査結果について、既に近畿イニシアのウェブサイト上に掲載済みである旨の報告があった。

**4) 成果と反省 (研修会のまとめ)**

各委員から資料 5-3 に基づき、平成 29 年度「中級研修」についての報告があり、内容を確認した。今年度研修は概ね好評であり、今後の研修も現状を維持していく旨、総括した。主な報告は以下のとおり。

- (1) 講師への質疑応答は、受講者からの質問が少ない場合に備え、あらかじめ幾つか質問事項を用意しておくが良い。受講者も発言しやすくなる。
- (2) 受講者の座席については、印刷物にて配付するか、もしくは掲示するのが望ましい。
- (3) 受講者を班分けする場合は、受講決定通知時にあわせて所属班を通知する方が良い。

- (4) 研修申込み方法のウェブフォーム化は有効であった。次回は、近畿イニシアウェブサイト上のフォームを使用することを検討する。
- (5) 研修申込みに際し、機関別推薦書と受講申込書の二つの様式があるのは煩雑なので統合を検討すべきである。
- (6) 受講申込レコードを管理サイト上にて、研修者担当のみならず当委員会の他委員も参照できるようにすると、現況が把握しやすくなり、また資料作成等に活用が容易になる。
- (7) 講師に対する事務手続き等、運営委員会事務局との連携が必要な事項はさらに連絡を密にし、不備のないよう努めるべきである。
- (8) 当日の配付資料等は講師だけでなく、運営委員会委員にも事前に送付した方が良い。
- (9) 研修当日に交通遅延等の不測の事態が起こり得るので、講師、受講者はもちろん、出席予定の運営委員会委員にも電話番号及びメールアドレス等、複数の緊急連絡先を直前に通知しておく必要がある。
- (10) 情報交換会のキャンセルについて、連絡先を当委員会メーリングリストとし、委員全体に情報共有すべきであった。
- (11) 情報交換会会場が一般飲食店の場合は、融通が利かない場合があるので、あらかじめ配慮が必要となる。
- (12) 情報交換会における講師参加費について、運営委員会からの負担が出来ないのか、確認する方が良い。

## 2. 平成 30 年度研修事業について

山崎主査から資料 4-1 及び資料 6-1、6-2、6-3 に基づき、過年度の委員会日程、研修プログラム及び日程等の報告があり、平成 30 年度に開催する研修の概要について協議を行った。主な決定事項は以下のとおり。

- 1) 平成 30 年度研修は需要の多さを考慮し、初任者研修とする。
- 2) 開催時期は、現委員任期中の 5 月中旬以降月末までとし、21 日の週を第一候補に、会場の都合も勘案しつつ、今後検討する。なお、研修後のアンケートで受講者から秋頃開催の要望が出ることもあるが、過去に検討した結果、特に初任者向けは早期が良いと決定していることを再確認した。
- 3) 会場は、グループワークの実施を想定し、机椅子の移動可能な部屋が望ましく、2~4 日連続借用の可否も確かめておく。候補となった各機関にて、会場の使用要件等を調査し、当委員会メーリングリストに報告することとした。
- 4) 研修講師について、各委員は推薦可能な講師候補がいれば、後日メーリングリストに通知することとした。また、ワークショップについても適切なテーマや関連講義の講師候補があれば、同様に連絡することとした。また、第 4 回委員会開催までの間に可能な限り、メーリングリストを活用し、人選等を進めることとした。

### 3. その他

1) 山崎主査から資料7に基づき、平成29年度近畿イニシア第1回運営委員会の議事について報告があり、内容を確認した。主な報告は以下のとおり。

- (1) 平成29年度中級研修について、実施内容とアンケート結果の報告、及び今後の年間予定等の能力開発専門委員会に関する活動報告を行った。
- (2) 近畿イニシア Web サイトが移行される予定であり、メーリングリストや研修申し込み Web フォーム機能等も追加予定である。

2) 資料4-2に基づき、平成29年度及び平成30年度に開催する当委員会の開催時期を検討し、以下のとおり決定した。

- (1) 第4回(10月下旬～11月頃)：同志社大学
- (2) 担当者のみ、講師との打ち合わせ(12～1月の間)
- (3) 第5回(1～2月頃)：大阪大学箕面キャンパス
- (4) 平成30年度第1回(4月頃)：京都市立芸術大学、大阪体育大学等の候補から選択する。
- (5) 第2回(研修の直前)：研修会場の機関

なお、次回の第4回は研修の詳細及び各委員の役割分担を行う予定とした。日程は、山崎主査が各委員の調整を行い、決定することとした。

また、第5回は例年2月頃に開催される近畿イニシア運営委員会の前に行い、次年度研修の企画、日程、予算等の案を決定する予定であることを確認した。

2) 今年度当委員会の書記担当について協議し、井上委員が担当することとし、同委員が欠席の際には、その都度検討することとした。

以上